

2004年1月15日

厚生労働省医薬食品局

血液対策課

課長 金井雅利殿

ライオンズクラブ国際協会
330複合地区
献血・骨髄移植委員会 委員
三 星 勲

ライオンズクラブの献血奉仕活動について

日本の血液事業は現在ウイルスの除去・不活化等、血液の一増の安全対策確立の為、大きな試練を受けている処であり、善意ある国民の皆さん方よりの貴い献血血液を必要とする患者さんに安心して使用して頂く為に、国も日赤も真剣なる努力を重ねておられます。

血液事業は善意ある国民の皆さん方よりの献血血液があつて始めて成立つ事であり、私共ライオンズクラブメンバーは1966年より38年間に渡り献血奉仕へのボランティア活動を継続してまいりましたが、この際さらなる献血奉仕活動を推進する為「献血推進のためのボランティアとしての資格認定制度」を設けて献血基準・血液の管理、用途・献血方法等の知識及び献血者への対応等を勉強すべく別紙の通り活動へ努力することになりましたので、御届け申し上げます。

献血推進のための資格認定制度の概要（案）

1. 目的

献血者の安全と輸血用血液・血漿分画製剤の安全確保のために、献血基準・血液の管理・用途・献血方法等についての知識および献血推進者の対応等を適確に身に付けていただき、ボランティアによる社会的な相互扶助に基づく献血推進運動を広く展開する。

2. 資格の名称

「献血推進講師」とさらに上級の「献血推進指導講師」とする。

3. 資格要件

1) 「献血推進講師」

- ① 日本赤十字社（血液センター）が推薦するボランティアおよび職員
- ② 献血実施団体・献血推進団体が推薦するボランティア
で、別に定める「献血推進講師研修会」を受講したボランティアおよび職員

2) 「献血推進指導講師」

- ① すでに「献血推進講師」の資格を有し、3年以上の献血推進活動の経験者
- ② 日本赤十字社（血液センター）が推薦するボランティアおよび職員
- ③ 献血実施団体・献血推進団体が推薦するボランティア
で、別に定める「献血推進指導講師研修会」を受講したボランティアおよび職員

4. 資格の有効期間

- 1) 「献血推進講師」資格の有効期間は、2年間とし、「献血推進講師更新研修」の受講により更新し、以後同様とする。
- 2) 「献血推進指導講師」資格の有効期間は、2年間とし、「献血推進指導講師更新研修」の受講により更新し、以後同様とする。

5. 資格認定者

ライオンズクラブ国際協会

330-A地区担当委員会が日本赤十字社（または各赤十字血液センター）と連名で認定し、資格証を発行する。

6. 「献血推進講師」および「献血推進指導講師」育成のための専門講師

- 1) 日本赤十字社（血液センター）が推薦する職員（献血推進業務の実務5年以上）
- 2) 講師歴5年以上の「献血推進指導講師」で全国献血推進協議会が認定したボランティア

7. 講師のための研修プログラム概要（別途検討）

献血推進リーダー研修プログラム（案）

項 目	終了経過時間	テーマ	所要時間
講 義	0:45	1. 献血の安全性	40分
		質 疑	5分
休憩	0:50		5分
講 義	1:35	2. 血液の行方	40分
		質 疑	5分
休憩	1:40		5分
講 義	2:25	3. 輸血の安全性	40分
		質 疑	5分
休憩	2:30		5分
講 義	3:10	4. 400ml 献血と成分献血の必要性	15分
		5. 献血の方法	10分
		6. 血液センターの運営費用	10分
		質 疑	5分
休憩	3:15		5分
講 義	4:00	7. 献血の必要性	40分
		質 疑	5分

* プログラムの中に「献血の推進方法」の効果的な方法と注意事項を具体的な講義または実践する時間を最低 20 分程度追加したいと思います。

その方法としては、

- ① 研修当日に他の講義時間を減らして組み込む。
- ② 別の日に実践プログラムとして数時間を追加する。

献血推進リーダー研修内容（案）

テーマ	所要時間	主な趣旨と講義内容
1. 献血の安全性	40分	献血することで体調が変になったり、ウイルス等に感染したりすることはないでしょうか？ ① 献血の際に使用する器具と安全性 ② 献血の基準の意味と造血作用 ③ 採血の穿刺による副作用・事故 ④ 献血後の注意事項
2. 血液の行方	40分	献血した血液はどのように役に立つでしょうか？ ① 血液の検査の必要性と主な検査内容 ② 血液製剤の種類と効用 ③ 血漿分画製剤の種類と効用 ④ 疾病別の輸血状況 ⑤ 血液の供給体制
3. 輸血の安全性	40分	輸血でウイルスに感染した…というマスコミ報道は本当でしょうか？ ① 輸血による副作用 ② ウィンドピリオドとキャリアー ③ 献血者の意思の尊重と正確な申告の必要性 ④ 国内自給の必要性
4. 400ml 献血と成分献血の必要性	15分	400ml や成分献血が強く勧められる理由は？ ① 輸血の安全性の向上 ② 輸血効果の向上
5. 献血の方法	10分	献血はどこでできるのですか？ ① 献血ルーム ② 献血バス
6. 血液センターの運営費用	10分	献血は無料なのに輸血は有料ですが、どうしてでしょうか？ ① 血液センターが必要な経費 ② 医療費の仕組み
7. 献血の必要性	40分	人工血液が開発されている現在でも献血は必要でしょうか？ ① 献血の歴史（日本） ② 人工血液の効用と限界 ③ 自己血輸血の効用と限界 ④ 世界の血液事情 ⑤ 赤十字が行う国民運動の意味